

# 令和8年度 良好な水環境保全・活用モデル事業の募集について

環境省では、**水環境等の保全・活用による地域づくり**により、地域における関係主体の取組を促すとともに、**水環境の適切な管理・良好な環境の創出**を目的としたモデル事業を実施いたします。

## □ 公募スケジュール

公募期間：令和8年1月15日（木）～2月13日（金）17:00【必着】

選定結果の通知、公表：令和8年4月中旬頃

## □ 公募対象地域・団体

- ◆ 全国の水環境等の保全・活用等による地域課題の解決に取り組む地域 ※対象外の地域：全国の閉鎖性海域等の沿岸地域
- ◆ 地方公共団体、公益法人・NPO法人・企業・学校法人・観光協会等の民間団体またはこれらを構成団体とする協議会等

## □ 対象事業

### 1) 水環境等の保全・調査活動

- 地域の自然的特性や歴史・文化・産業の観点を踏まえた水辺や湧水、地下水の保全・創出活動
- 水道水源である森や川からの流域一帯的な保全・調査
- 水域生態系・水質の調査、普及啓発ツールの検討
- 水域生態系の保全活動の経済価値評価、効果の見える化 など

### 2) 水環境等の活用方策の検討

- 地域の環境資源の掘り起こしやブランディング、地域特産品づくり
- きれいで豊かな水を活かした地場産業の維持・振興 など

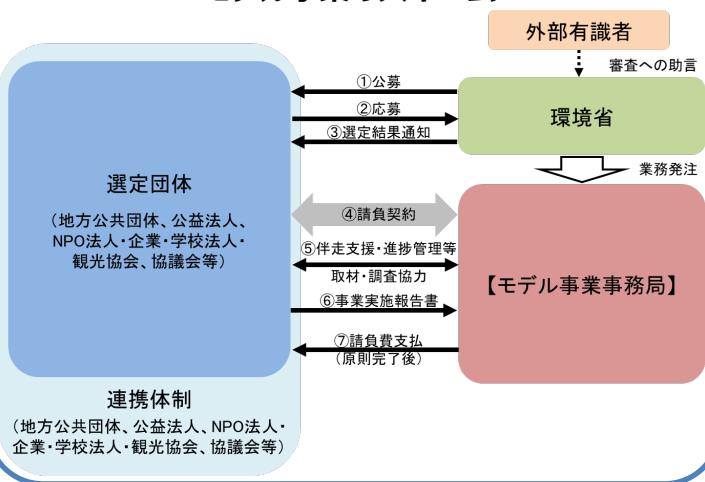
### 3) 水環境等の保全・活用のための体制づくり

- 1)、2) のための体制構築
- 水に関わる取組を通じて地域内外の交流等を促進させる活動（地域協議会等の組織の設立・運営、シンポジウムの開催等）など



## モデル事業のイメージ

### モデル事業のスキーム



- ◆ 1 団体あたり申請額は300万円（税込み）以下としてください。
- ◆ 希望する場合は、最大 2 年間のモデル事業の実施が可能ですが、継続審査や、令和 9 年度は予算確保次第で事業の内容を申請内容から変更していくいただくことがありますのでご留意ください。

### モデル事業実施スケジュール（予定）

令和8年 5月～	実施計画の協議、初回打合せ等
6月～	打合せ、伴走支援等
令和9年 2月頃	活動成果報告会
2月末	報告書提出
3月頃	事業継続審査（2カ年での事業を希望する場合）

## 問い合わせ先

環境省水・大気環境局環境管理課環境創造室 赤道、飛石

TEL : 03-5521-8298 E-mail : Water-Cycle@env.go.jp (送信の際は「○」を「@」に置き換えてください。)

# 令和8年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業の募集について

環境省では、事前に計画を作成した上で、藻場・干潟等の保全・再生・創出において着実に成果を創出するとともに、地域特有の手法により地域資源を利活用することで、保全と利活用の好循環を実現するための里海づくりの基盤構築を、地域団体とともに戦略的に目指す当該事業を実施いたします。

## □公募スケジュール

公募期間：令和8年1月15日（木）～2月13日（金）17:00【必着】

選定結果の通知、公表：令和8年4月中下旬頃

## □公募対象団体

地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）・公益法人・NPO法人・企業・漁業協同組合・学校法人・観光協会等の民間団体、またはこれらを構成団体とする協議会等

## □対象事業

次の（1）に掲げる地域において行う、（2）に掲げる事業を対象とします。

### （1）対象地域

全国の閉鎖性海域を含む沿岸域

※事業の主たる部分が沿岸域で行われるものであれば、沿岸域以外で行われる事業（森里川海視点など）が一部含まれていても対象となります。

### （2）対象事業

- 自然環境や藻場・干潟等の保全・再生・創出に資する活動（保全・再生等活動）
- 希少種に限らず沿岸の生態系の保護やモニタリング、データベース化
- 自然環境や藻場干潟等の保全・再生等活動を体験できる観光コンテンツの造成
- 人材の育成に向けた海洋教育プログラムや単元開発、地域の学校等への教材提供
- 情報発信ツールの製作、シンポジウムやワークショップの開催等、保全・再生等活動の啓発のための地域活性化プロモーション
- 関係省庁の施策との連携（沿岸域の総合的管理や海洋空間計画の立案、海業など）
- 被災地としての復興
- 上記を実施するための協議会等の設置や他団体等との連携、枠組みづくり



藻場干潟の保全・再生・創出 × 資源の利活用

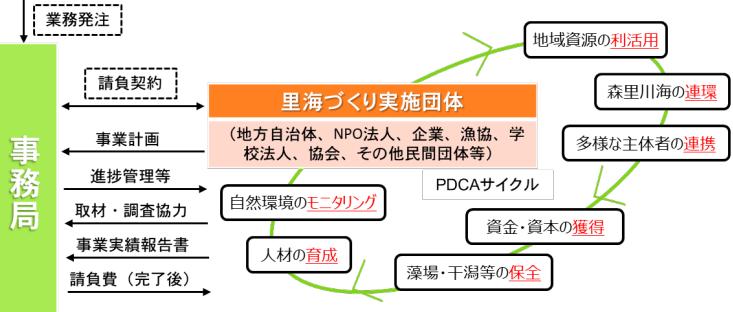
戦略的に地域の里海づくりの基盤構築につなげる

## モデル事業のスキーム

### 環境省

環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室・環境管理課 環境創造室

事務局



- ◆ 1団体あたりの事業上限額（令和8年度）は450万円（税込み）です。
- ◆ 希望する場合は、最大2年間のモデル事業の実施が可能ですが、継続審査や、令和9年度以降は予算確保次第で事業の内容を申請内容から変更していただくことがありますのでご留意ください。

## モデル事業実施スケジュール（予定）

令和8年 4月～	初回打合せ、活動計画の協議等
5月～	打合せ、伴走支援 専門家によるコーチング等
11～12月 事業継続検討会	
令和9年 1月頃	活動結果報告会
2月末	報告書提出

## 問い合わせ先

環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室 佐藤

TEL : 03-5521-8317 E-mail : kaiiki@env.go.jp (送信の際は「○」を「@」に置き換えてください。)

# 令和8年度良好な環境を活用した観光モデル事業の募集について

環境省では、豊かな水辺、星空、音の風景等、地域特有の自然や文化の保全が行われてきた地域において、インバウンド誘客に資する自然資本の磨き上げとその利活用に取り組み、保全と活用の好循環を図ることを目的としたモデル事業を実施いたします。

## □ 公募スケジュール

公募期間：令和8年1月15日（木）～2月27日（金）17:00【必着】

選定結果の通知、公表：令和8年4月下旬頃

## □ 公募対象団体

地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）・公益法人・NPO法人・企業・学校法人・観光協会等の民間団体、またはこれらを構成団体とする協議会等

※実施にあたり、対象地域を所管する地方公共団体の環境部局等（事業の対象となる「良好な環境」の保全を担当する部局）と連携することが望ましいです。

## □ 対象事業

次に掲げる地域において行う、インバウンド誘客に資する「良好な環境」の磨き上げ及び利活用のための調査・検討、多言語対応、コンテンツ開発、ツアー造成等を対象とします。

### ・対象地域

名水百選・平成の名水百選・残したい“日本の音風景百選”・かおり風景百選の選出地域、「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催地域（開催予定地域含む）、みどり香るまちづくり企画コンテストの受賞地域、自然共生サイト、ラムサール条約湿地、エコツーリズム推進全体構想の認定地域、未来に残したい草原の里100選の選出地域、令和4年度～令和7年度の良好環境創出関連モデル事業の対象地域 ※詳細は公募要領を参照

### ・取組例

- インバウンド誘客に資する「良好な環境」の掘り起こしやブランディングに係る調査
- インバウンド誘客や保全と利用の好循環の実現に当たっての地域の課題の整理
- 「良好な環境」に係るストーリーを多言語で解説するための訴求力のある素材の作成、環境整備（掲示物や情報媒体の多言語化等）及び人材の育成
- 望まれる来訪者の体験を実現するためのコンテンツやツアーの造成、モニターツアーの実施 etc…

## モデル事業のイメージ



名水百選等を活用した  
ストーリーの検討



水辺のプログラム造成  
のための調査

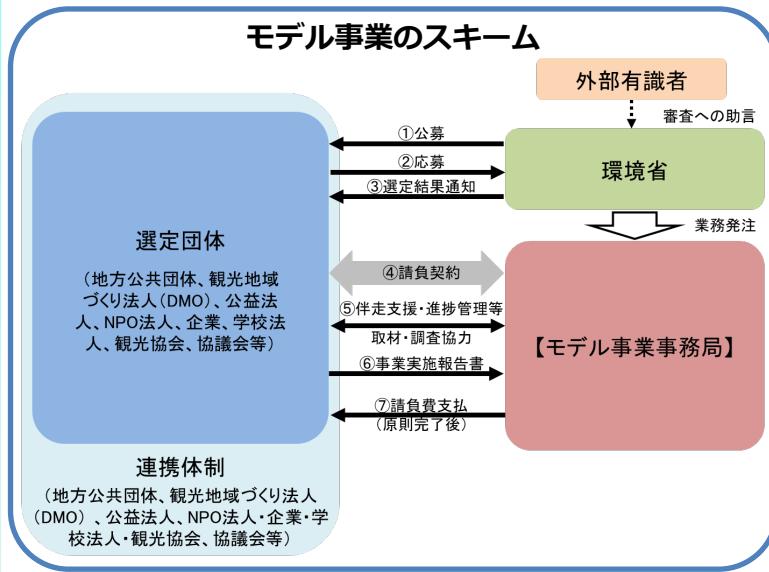


藻場再生体験を提供する  
モニターツアーの実施



自然共生サイトでのツアー  
解説の多言語化と情報発信

## モデル事業のスキーム



- ◆ 1団体あたり申請額（令和8年度）は900万円（税込み）以下としてください。
- ◆ 選定にあたっては、「良好な環境」を活用した観光地域づくりを通して気候変動への適応を推進することに重きを置いた事業を全体のうち数件選定する予定です。
- ◆ 希望する場合は最大2年間のモデル事業の実施が可能ですが、継続審査の結果や予算の確保状況を踏まえ、継続しない場合や、減額の可能性があることをご留意ください。

## モデル事業実施スケジュール（予定）

令和8年 5月～	実施計画の協議、初回打合せ等
6月～	打合せ、伴走支援等
秋～冬頃	事業継続審査（2カ年での事業を希望する場合）
令和9年 1月頃	活動結果報告会
2月末	報告書提出

## 問い合わせ先

環境省水・大気環境局環境管理課環境創造室 武藤、平田、珊瑚

TEL : 03-5521-8298 E-mail : kankyo-ryoko@env.go.jp (送信の際は「○」を「@」に置き換えてください。)